

統計分科会編集による市場統計冊子(第8版＝2017年版)販売中

J I I A 統計分科会編集による市場統計冊子の第8版を発行いたしました。第8版では2014年から2017年6月までの統計データを掲載しています。

購入ご希望の方は、「JIIA 統計冊子（PDF版）購入申込フォーム」サイトに必要事項を入力の上、お申込みください。

なお、掲載しているのは「エリアカメラ」「画像入力ボード」の2分野です。「ラインカメラ」「レンズ」「照明」「画像処理装置」「画像処理ソフト」「ケーブル」の6分野につきましてはデータ提供社数が少なく、有効な統計値にならないため非掲載となっております。あらかじめご了承ください。

この冊子にはコピーガード印刷が施されています。

2018年4月

JIIA 市場統計

2014 年-2016 年
(第 8 版)

見本 (抜粋)

購入ご希望の場合は、JIIAホームページの「JIIA
統計冊子 (PDF版) 購入申込フォーム」サイト
に必要事項を入力の上、JIIA事務局へ送信し
てください。

2018 年 3 月
一般社団法人
日本インダストリアルイメージング協会
統計分科会

掲載内容 目次

■ はじめに	3
◆ JIIA 市場統計 2014-2016 年版（第 8 版）発行について	4
◆ 統計データの保有と維持について（データの機密保持）	5
1. エリアカメラについて	
① エリアカメラ 地域別 出荷台数／売上額	8, 9
② 白黒カメラ 解像度別 出荷台数／売上額	10,11
③ カラーカメラ 解像度別 出荷台数／売上額	12,13
④ 白黒 vs カラーカメラ別 出荷台数／売上額	14
⑤ CCD vs CMOS 別 出荷台数／売上額	15
⑥ 白黒カメラインターフェース別 出荷台数／売上額	16,17
⑦ カラーカメラインターフェース別 出荷台数／売上額	18,19
2. フレームグラバードについて	
① フレームグラバード 地域別 出荷台数／売上額	21,22

■はじめに

JIIA 独自統計の活動にご賛同を頂き、自社の出荷・売上実績のデータ提出にご協力くださった企業様および担当者様に感謝いたしますと共にお礼を申し上げます。

この活動は皆様の理解と善意に支えられてこそ継続できるものです。今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

JIIA 市場統計資料の発行は今回は対象期間を、2014 年 7 月から 2017 年 6 月までの 3 年間とし、第 8 版となります。

本統計は対象とする製品区分における集計結果を、それぞれ半年単位でグラフ化して表示しています。2014 年度までは、ラインカメラ、照明、レンズ、画像処理ソフトウェア、画像処理機器、ケーブルの各メーカー様にもデータ提供をお願いしていましたが、これらの製品につきましては、近年データ提供数が少なく、統計として公開できる程の集計には至らないので、今回よりエリアカメラとフレームグラバードのみといたしました。

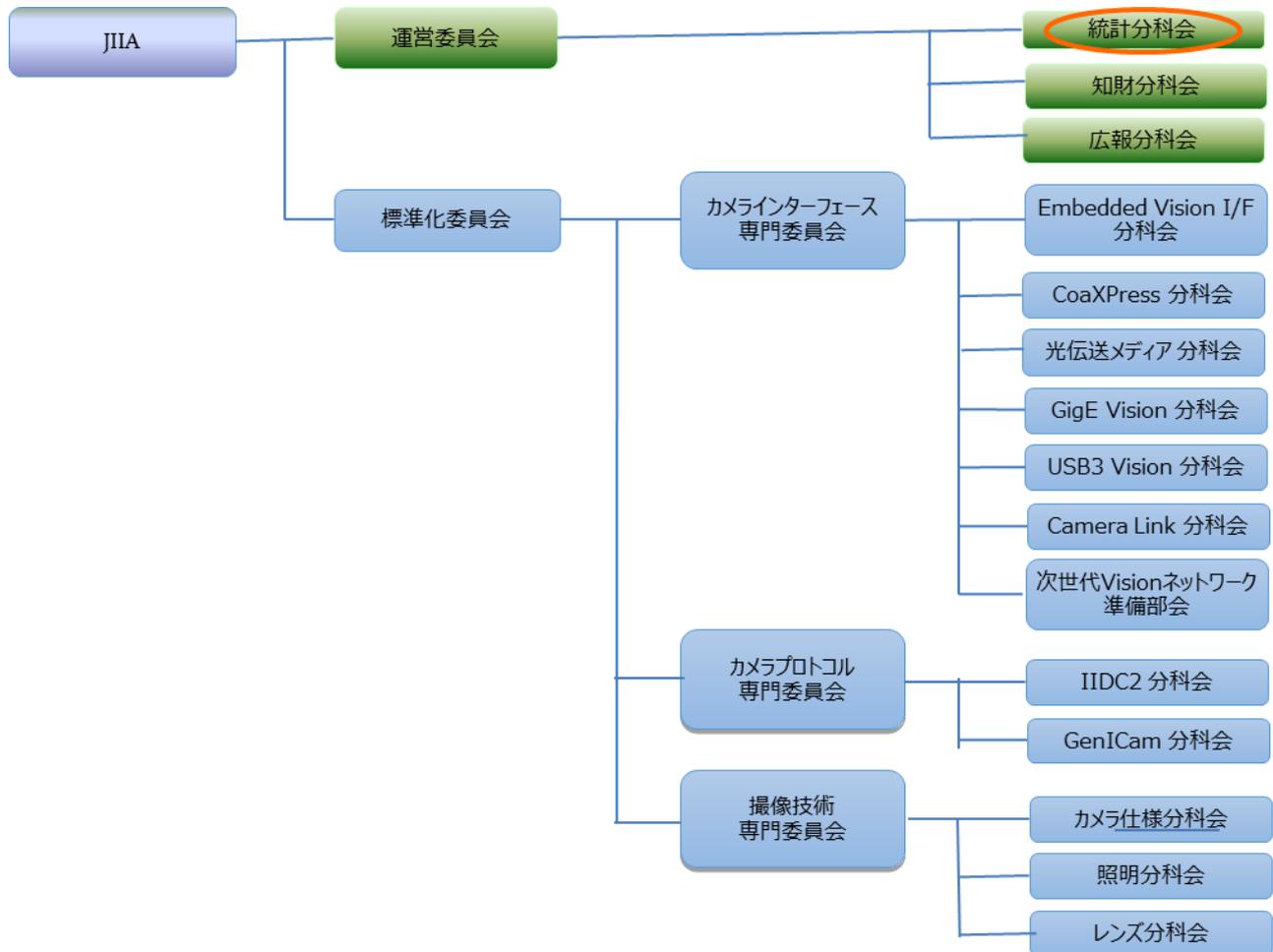
また、フレームグラバード市場については 2014 年 7 月から 2015 年 12 月の間のデータが、規定数を満たさないためグラフ化をしておりませんが、それ以降は規定数を満たしたので 2016 年 1 月から 2017 年 6 月までのデータをグラフ化してあります。

2018 年 3 月
JIIA 統計分科会

■ JIIA 市場統計 2014-2016 年版（第 8 版）発行について

JIIA では、技術標準化分科会による活動の他、日本国内のマシンビジョン市場の規模や傾向、そして近未来予測などを皆様にお伝えすることも重要な活動ととらえ、JIIA 設立当初から統計分科会を発足させ活動を行っています。

■ JIIA の組織（委員会及び分科会の構成）



JIIA では、カメラ、照明、レンズ、フレームグラバー、画像処理機器、ソフトウェア、ケーブルなどを開発・製造するメーカー様の多くが会員になっており、各専門分野からみたアドバイスを基に、これら製品カテゴリおよびキーワード分類による詳細な統計資料の作成を目指しています。

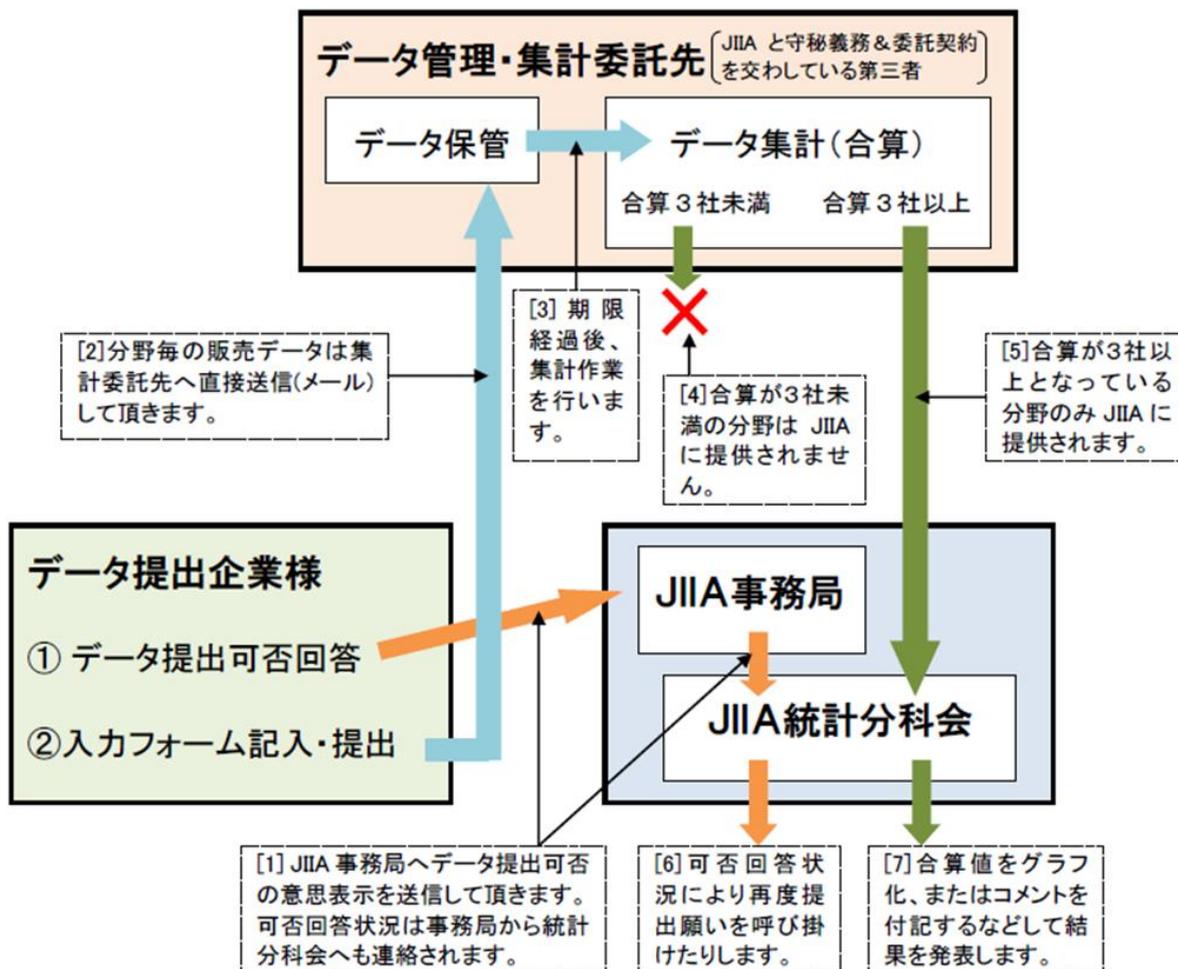
各企業様から提供いただいている実績データは半年単位（1月～6月の合計、および7月～12月の合計）にまとめていただいております、この版では2014年7月から2017年6月までの3年間分をグラフ化して掲載しています。

※売上額の単位はカメラ、ボードとも全て百万円です。

■統計データの保有と維持について（データの機密保持）

統計データの精度を高めるために、JIIA 会員様をはじめ、できるだけ多くの企業の方々に統計分科会の活動と主旨をご理解いただき、データ提供にご協力いただくようお願いをしております。提供いただく貴重なデータは、JIIA が秘密保持契約および業務委託契約を取り交わした第三者（データ管理会社）にて、その保有と維持をお願いしています。JIIA が、このデータ管理会社より取得するデータは提供いただいた企業様の合算値（各カテゴリおよびキーワードごとの合算値）のみです。従って連動するカテゴリの合算値に差異が生じているものもあります。さらに、或る製品分野でのデータ提供が3社未満だった場合はデータ管理会社から開示されないなどの条件をつけています。また、データを提供いただく企業様に対しては、予め JIIA より守秘義務誓約書を提出しており、データは守秘事項としています。

データ提供から統計結果公開までの流れを図式化すると下図のようになります。



※データ管理・集計委託会社は JIIA 会員ではありません。

※また委託先での集計作業に JIIA 会員が関わることもありません。JIIA は合算データに身を取得しています。

※現在の委託先は、カタログ制作やホームページ等のデザイン・制作を主たる事業としている会社で、マシンビジョン業界とは関係がありません。

1. エリアカメラについて

エリアカメラ出荷台数

図1 エリアカメラの国内・海外出荷台数 実数

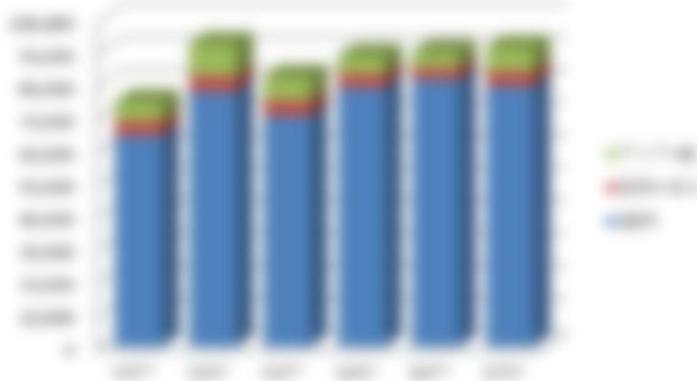
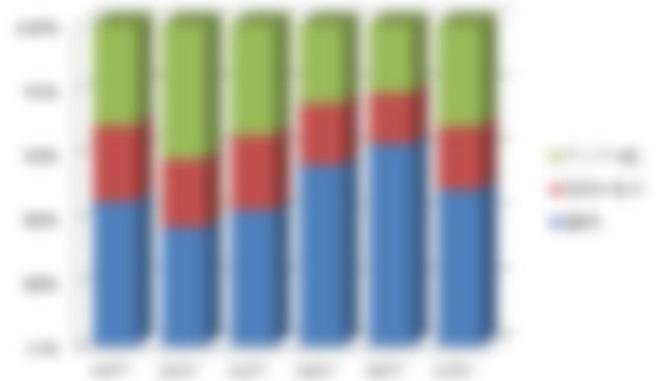


図2 エリアカメラの国内・海外出荷台数 比率



1. エリアカメラ市場統計 (JIIA 集計規模)

エリアカメラにおける、2014年7月以降3年間の、国内と海外を含む出荷台数実績統計データである。(JIIA 集計規模) ご協力いただいた企業様の出荷データを合算している。海外からの輸入品は含まれていない。

1-1. エリアカメラの出荷台数 (海外出荷分を含む)

(1) エリアカメラの出荷台数 実数 (図1)

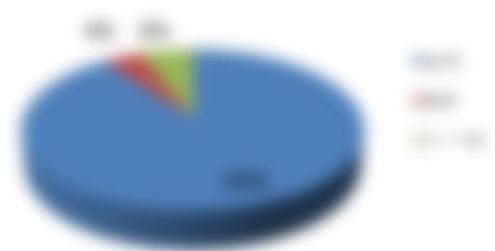
出荷台数としては、2014年7～12月期以降で緩やかな増加傾向にある。

(2) エリアカメラの出荷台数 比率 (図2)

(3) 2016年(1月～12月)のエリアカメラの出荷台数比率

図3で示す国内出荷90%の領域は約161,000台、海外出荷は約18,000台、合計約179,000台である。

図3 2016年のエリアカメラ出荷台数 比率



… (以下省略)